

附属研究の活用状況アンケート結果（対象：坂綾公立小学校教諭 261 名，H30.11 実施）

香川大学教育学部附属坂出小学校

1 研究会に参加して、公開授業や研究紀要・提案資料を見た中で参考になったことはありましたか。

（とても） （少し） （あまり） （まったく）
（参考になった） 4 - 3 - 2 - 1 （参考にならなかった）

（例）	4 - ③ - 2 - 1	※自由に記述してください。
H24・25 「思考力」を育成するユニバーサルデザインの授業づくり	回答数202，平均3.1 肯定的回答率（4と3の割合）86.6%	○支援ツールの開発が役立った(3) ○学級全体に効く働きかけは大変参考に(2) ○日々の実践に活かされている(2) ●実践が高度すぎて公立校では難しい
H26・27 対話を通じた「思考力」の育成（育てるカウンセリングを生かす）	回答数213，平均3.2 肯定的回答率90.1%	○子供がつかうアイテムが参考に(2) ●実践が高度すぎて公立校では難しい ●育てるカウンセリングをどう授業で取り入れているのかわかりにくかった
H28・29 学びに熱中する子どもの育成（学習意欲を育てる単元構成の工夫・支援）	回答数235，平均3.2 肯定的回答率89.4%	○班の構成，導入の工夫(2) ○手軽な教材開発(2) ○附属の研究は難しいという印象を払拭した ●今までの思考力研究との関連が見えない

2 本校における付箋を用いた授業討議（附坂小授業リフレクション）に参加して参考になったことはありましたか。

回答数238，平均3.2，肯定的回答率92.4%

<p><①付箋のよさ（意見の表出，分類整理，討議の進め方等）と公立校への広がり，</p> <p>○参会者のいろいろな意見が目に見える。討議後も見られる。(32) ○意見の集約に効果的(17)</p> <p>○論点をしぼった討議なので分かりやすい(19) ○たくさん活用されておりスタンダードとなってきた(15)</p> <p>○視点が明確で書きやすい。参加しやすい。(5)</p> <p><②司会の技術></p> <p>○司会の進め方取り上げ方が大切。勉強になる。(12) ○意見の広げ方，高め方がわかった</p> <p>○意見をしっかり拾ってくれる □授業者と参会者がかみ合った課題を見出せているかで成否が決まる</p> <p>□最後に全体で共有できる時間があれば(2)</p> <p><③授業を観る観点></p> <p>○個の視点からの見取りがよい(2) ○他県の取組が知れるいい機会(2)</p> <p>○積極的な意見交流が刺激的(2) ○附属の先生の授業を見るポイントが参考に</p> <p><その他></p> <p>□より整理された視覚的にとらえやすい新型リフを期待</p> <p>●参加人数と不一致なところもあった</p>
--

*H18 年度から公開している附坂小授業リフレクションは現在多くの場で活用されている。KJ 法で司会者と授業者が分類整理し，何を中心に議論をするか。どう意見をつなげたり，対立させたりしていくか，そしてどうまとめていくか。司会者の技量が大きく問われる。

3 研究図書『授業を変える～5つの視点』をご覧になられた方で，参考になった視点はありましたか。

【5つの視点：単元や題材／対話の促進／学習環境のユニバーサルデザイン／知識・技能の習得／思考の手がかりの共有化】

回答数139，平均3.2，肯定的回答率94.2%

<p>○授業づくりに困ったときに活用している(5) ○対話の促進，学習環境のユニバーサルデザインが参考に(8)</p> <p>○単元や題材がいかに興味を引きつけるか参考に(6) ○思考の手がかりの共有化を参考にしている(4)</p> <p>○若年必読書，具体的でわかりやすい(2) ○偶然見かけて購入した。授業づくりのヒントにしている</p> <p>○子供の思考に沿った単元構成が参考に(2) ○道徳が参考に(2)</p> <p>○5つの視点すべてが参考に(2) ○5つがすべてつながっていることがわかった</p>

*購入された方の肯定的回答率が高い。授業に困ったときや授業づくり等に役立てていただきありがたい。私たちがまとめた5つの視点の大切さが，「分かりやすく」を心がけて編集したことにより，読者に伝わったといえる。今後の研究物作成にあたって「分かりやすく」を心がけたい。また，附属の授業は5つの視点をないがしろにしてはならない。

4 本校教員が香小研や現職教育などでお話させていただいたことや資料等で参考になることはありましたか。
回答数 249, 平均 3.5, 肯定的回答率 93.6%

<①新しい教育の動向と教科教育の専門性及び教材研究>	
○新指導要領のポイントを示してくれる(16)	○今の時代に必要なことや国の動向を(9)
○教科の専門的な指導, 深い教材研究(10)	○教材の見方, 切り口(2)
<②授業の具体的指導と価値づけや改善点の明確化>	
○授業の具体と関連づけて話してくれる(11)	○価値付けてくれることにヒントがたくさんある(3)
○自分の実践例から話ってくれる	○一人の児童の変容を写真を使って示してくれた。
○授業のポイントをすばり話してくれる。	○授業のよさと改善点がわかる
○本校の実態に応じて話してくれる	
<③附属教員の指導の姿勢と発表スキル>	
○事前検討から具体的な指導をしていただいた(3)	○普段も声かけやアドバイスをいただき励みになる(2)
○話し方, プレゼンの仕方も参考になる	○いつも子供視点で話してくれる
<④汎用性の高い学習論, 学級経営論>	
○学級に取り入れられる(2)	○教材レベル, 単元レベル, 年間計画レベルをつなげて授業をつくる
○どの教科にも生きる学び方	○子供のつまづきに応じて工夫していくこと
○授業構成, 話し合いのさせ方	○理由を考えることで思考力がつくこと
○多岐にわたった広い視野からの話	○学級経営のアドバイスもいただいた
<⑤実技指導, 参考になる資料>	
○版画の実技研修が役立った(2)	○準備資料ありがたい(6)

*高い評価をいただいています。どんなに忙しくても準備を怠らず、勉強の場を与えてくれたことに感謝し、真摯に指導されてきた先生方の努力の賜です。上記の5つのカテゴリーは今後指導される先生の参考になります。この場も附属教員を成長させてくれているのでしょう。日常の悩みを相談できる存在となっていることも素晴らしい。

5 これから本校の研究や教員に期待することを教えてください。

<①新しい視点, 深い教材研究の授業を期待>	
<input type="checkbox"/> 最新の動向を授業と子供の姿で(6)	<input type="checkbox"/> 深い研究の授業実践を(7)
<input type="checkbox"/> 附属だから得られる情報の共有を	<input type="checkbox"/> 現代の課題とその改善方法を
<input type="checkbox"/> 今までとどこが違うのかを教えてください	
<②思考力, 創造力育成の授業研究を>	
<input type="checkbox"/> もう一度思考力育成の研究を, 創造性の教育を(4)	<input type="checkbox"/> 思考力を高めるツールを
<③公立でつかえる授業を期待>	
■公立校でつかえる実践, 指導技術を(19)	■あまり先走らず公立校の半歩先を
<input type="checkbox"/> やってみたいな, できそうだなあと思えるものを	■増え続ける若手の参考になる授業を(3)
■わかりやすい理論と子供の姿で感動させる授業を	<input type="checkbox"/> 若年教員の手本となる姿を示してほしい
<④指導技術等, ワークショップへの期待>	
<input type="checkbox"/> ワークショップでいろいろな勉強をしたい(3)	<input type="checkbox"/> 支援, 発問, 助言の仕方等, 基礎技術を学びたい(3)
<input type="checkbox"/> 支援を要する児童へのかかわり(2)	<input type="checkbox"/> 日常の授業場面での指導について知りたい
<input type="checkbox"/> 日常で困ったときに附属の先生の意見を気軽に聞きたい2	<input type="checkbox"/> ワークショップに若手が意欲的に行っている
<⑤あこがれの授業を, 情熱, 授業づくりの過程を>	
<input type="checkbox"/> 坂綾教員のあこがれとなる授業を	<input type="checkbox"/> 教育への情熱を広げてほしい
<input type="checkbox"/> 授業づくりの苦勞も公開してほしい	
<その他>	
<input type="checkbox"/> 毎回なるほどという授業がたくさんある。これからも(2)	<input type="checkbox"/> 香川を引っ張って行ってください(2)
<input type="checkbox"/> 附属の研修で学んだ事を更に広げてほしい	<input type="checkbox"/> 附属の先生の普段の健康管理方法を知りたい
<input type="checkbox"/> 特別教育実習の学生がボランティアに, ありがたい	<input type="checkbox"/> 外国語を公開してほしい(2)
■子供の声が小さくて聞こえにくいもったいない	■資料の量を減らさないと当日理解できない

*大きくわけて捉えると、<①新しい視点, 深い研究の授業を期待する声>と<③公立校でつかえる授業を期待する声>の2つがあります。この2つは相反するものでしょうか?新しい視点を取り入れ深い教材研究に支えられた授業は、適度な困難さがあり、子供にとって、考えたくなったり、わくわくしたり、働きかけによりわかりやすくなったりするものです。決して公立の子供にとって難しすぎる学習問題を設定してはいないのです。その授業者のしかけを、いきいきと活動する子供の姿で示すことが公立校の若手の先生を刺激し、自分のクラスでやってみようとするのです。①と③はつながっており、それは⑤あこがれの授業となるはずです。

今年度より自主的に実施しているワークショップの評判が良く、新しい地域貢献の場となっています。日常より附属と公立の先生がつながり、WIN-WINの関係を築くことは、とても大切なことです。ありがとうございます。